



# 一般質問

## 市民の声を市政に

議長は職責上（議事整理権）、監査委員は申し合わせにより、一般質問を行っていません。

(文責は、各質問者)

## 一般質問に 29 人が登壇

若者のまちづくり  
への参画について



鈴木 一利  
議員

先日行われました参議院議員選挙において、18歳、19歳の選挙権が初めて行使されました。今後、今まで以上に若者がまちづくりへ参画する機会を設けることは大切であり、若者からの意見の聴取や、その意見が出しやすくなる環境づくりが重要だと考えます。

そこで、本市における若者の意見聴取の現状を伺います。

また、本市のまちづくりへの参画状況と、中学生、高校生への参画についても伺います。

そして、なにより若者が、より市政に参画しやすいように、SNSなどを活用することについての考えを伺います。

○総合政策部長

本市では、地域社会への愛着とまちづくりへの興味を持っていただくことを目的に、「大学生政策提案コンテスト事業」を実施しており、若者ならではの優れた提案は、実際に事業化しています。

ほかに、市内の中学生、高校生を対象とした「中高生まちづくり会議」の開催を予定しており、ここでの検討結果を新たな総合振興計画の策定に活用していきます。

また、本年度から開始した「シティセールスサポーター制度」は、SNSなどを通じて、個人目線から本市の魅力を発信していただく取り組みとなっております。

このほか

○春日部市小学校英語教育について

○子育て支援タクシーの導入について

ウイング・ハット  
春日部周辺の整備と  
芝のグラウンドについて



鬼丸 裕史  
議員

平成5年に策定された「春日部市体育施設整備基本計画」は、ウイング・ハット春日部周辺を総合的なスポーツ振興拠点の場として、陸上競技場やテニスコートなどを整備する計画でした。しかし、長引く経済不況に伴う財政状況の悪化などにより、大きな進展

はなく現在に至っています。

そこで、武里南部地域の学校再編にあたり、谷原中学校は総合体育施設整備エリアの中心に位置しています。熊谷市では、廃校となった高校施設を有効活用した事例もあることから、谷原中学校の跡地利用も含めた計画の見直しが必要であると考えますが、市の考えを伺います。

○社会教育部長

谷原中学校閉校後の跡地利用については、武里南部地域学校再編計画において、地域の活動の場や活性化、発展のための有効な活用方法について協議するため、今後、関係部署による組織を立ち上げ、跡地利用の方向性を検討する予定となっております。

ウイング・ハット春日部周辺の総合体育施設整備計画区域に谷原中学校が隣接していることから、体育施設の整備と併せ、その活用方法を十分に検討し、関係部署と協議調整をしていきます。

このほか

○第2次春日部市総合振興計画の策定について

○クレヨンしんちゃんの活用について

○特色ある教育活動について

**庄和北部地域の「学校再編は「小中一貫教育」ではなく「小中連携教育」で実施を**



松本 浩一 議員

平成31年4月開設の予定で、庄和北部地域に施設一体型による義務教育学校を新設する準備が進められています。長い歴史と伝統のある3校を廃止して、新たな学校を新設することは重大であり、慎重に検討する必要があります。

9年間の小中一貫教育は、教育課程や学校運営に多くの課題があります。これまで通り、小学校と中学校が別々の併設型の学校とすることが重要です。

また、江戸川中学校の校舎、体育館、プールは老朽化しています。モデルとなるような特色ある小中一貫校を目指すのであれば、新築整備すべきですが、市の考えを伺います。

**○学校教育部長**

義務教育学校では、義務教育9年間を見通した教育の推進による学力向上や中一ギャップの解消、家庭・地域と一体となり、創意工夫した特色

ある教育活動を展開し、他の学校の模範となるような学校づくりを進めていきます。

**○教育長**

義務教育学校の理念を生かした9年間の教育課程を編成し、地域からの要望に応えた小中一貫校を目指します。また、施設については最小限の経費で最大限の教育効果や利点を生かせる整備を行い、モデルとなるような義務教育学校を目指せると考えています。

**このほか**

○来年3月に閉鎖する春日部市商工振興センターの跡地は、東口まちづくりの拠点に



庄和北部地域の小・中学校

**都市計画道路 大場大枝線について**



山崎 進 議員

武里駅南側に位置する107号踏切の渋滞解消を目的として、都市計画道路大場大枝線の整備が進められています。この大場大枝線が完成することによって、107号踏切

の渋滞解消はもとより、武里地区の東西の活性化。ひいては、春日部市の活性化に繋がります。さらに、交通安全も確保される事業であり、一日も早い整備が望まれています。ここに来て工事がストップしています。

そこで、この道路の概要と進捗状況について伺います。

また、この道路が完成しても107号踏切は閉鎖しないでいただきたいと思いますが、どのような調整をしているのか伺います。

**○建設部長**

事業主体の埼玉県によりまして、大場大枝線は、武里内牧線との交差箇所を起点として東武伊勢崎線を立体交差し

国道4号を終点とする、延長約940メートルの道路です。平成26年度末までに、五差

路西側区間の延長約346メートルの整備が完了し、現在は東側区間の用地買収や、鉄道付近の構造設計を実施しています。なお、用地の取得率は約91パーセントです。

県道野田岩槻線にある107号踏切については、東武鉄道と調整を行うとともに、課題の整理を行っているのとこのです。

**このほか**

○学校再編について  
○交通安全について

**春日部市商工振興センター「アクシス」について**



佐藤 一 議員

商工振興センター「アクシス」は、耐震診断を実施したところ耐震性能が不十分であることが判明したため、平成29年4月1日以降の利用を休止することとなりました。

そこで以下を伺います。  
①閉館となった場合、他の施設で対応ができるのか。

②跡地の今後の活用について。  
③市と商工会議所との検討経過について。

④市内経済活性化策について。

**○環境経済部長**

①近隣に市民文化会館、視聴覚センター、ふれあいキューブなどがあり、これらを利用いただきたいと思います。  
②中心市街地に多くの人が集まり、賑わいや活性化を創出できるような跡地活用とすべく、検討を進めています。

③商工振興センターに関わる諸問題については、市内の内経済活性化委員会で協議調整を行い、商工会議所の正副会頭会議を窓口協議していただきます。そこで、商工会議所の移転先については市民文化会館1階の旧レストランですり合わせていくことで、一定の理解を得られたところです。

④大型店舗と周辺小売店の共存による回遊性の向上や、小売店が持つ独特の商品の物販に商工会議所も力を入れるなど、市内経済の活性化に取り組んでいくことが重要であると考えています。

**このほか**

○地方創生の中での金融機関との連携について  
○空き家対策について



### 春日部市立医療センター 開院後の状況について



金子 進  
議員

春日部市立病院が春日部市立医療センターとして新たに開院し、約2カ月が経過していますが、新たなシステムの運用と、入院および外来の運用システムの見直しによる現在の状況について、そして、今後の一層充実した医療提供のための取り組みを伺います。

また、立体駐車場の建設により、旧市立病院と比較して大幅に駐車台数を拡充したところですが、駐車場の利用状況について伺います。

○病院事務部長

新たな会計システムや電子カルテシステムは、おおむね円滑に運用されています。入院での運用では、患者支援センターやセキュリティシステムの稼働で、快適で安心な環境となっており、外来診療では、当初職員を配置して誘導していましたが、現在は通常の案内体制としています。

駐車場の利用実績は、7月

の平均で平日1日523台、休日185台となっております、今後も円滑な運用に努めます。

#### ○病院事業管理者

今後の医療の充実では、将来の地域周産期センターの指定を目指し、内容の充実を図り、補完的役割を担う新生児センターの指定に向けて検討を進めます。がん診療では、さらに総合的な治療体制の確立を進めたいと考えています。

#### このほか

○東埼玉道路について  
○介護保険制度の新しい総合事業について

#### ○職員の介護休暇について

### 春日部駅付近連続立体交差事業 3つの課題の進展を問う



古沢 耕作  
議員

本市が最重要課題の一つとして取り組む春日部駅付近の高架化事業について、市は来年の平成29年度を事業主体の埼玉県が国から事業認可を受ける目標年度としています。

その目標年度は、もう約半年後に迫っているわけですが、目に見える形での進展が、な

かなか見えてきていません。同事業が思うように進んでいないのであれば、並行して駅の東西を結ぶ地下道をもつと使いやすく改修するなどの方策を行うべきと考えます。

まず、これまでに明らかになってきた3つの課題の進捗状況について伺います。

また、市長に2点伺います。同事業のゴーサインとなる事業認可が、来年度予定通りに決定に至る自信をお持ちでしょうか。また、はつきりと目標年度を掲げている以上は、ただ全力で取り組んでいるという説明だけでは不十分です

から、今後のスケジュールについて、責任を持って提示されるべきではないでしょうか。

○鉄道高架担当部長

3つの課題である財源、事業期間の短縮、まちづくりに関しては東武鉄道から提案のあった輸送改善を見据え、それぞれの課題解決を県や東武鉄道と進めているところです。

○市長

同事業に関しては、不回転の決意で、県とともに取り組んでまいります。

このほか

○再び、甲子園大会の予選を春日部で！

### 高齢者の生きがい づくりについて



小久保博史  
議員

高齢者の生きがいづくりのきっかけとして実施されている「ふれあい大学・大学院」ですが、入学をしようとする方々に対して、魅力があり興味を引くようなカリキュラムなどの取り組みは大切です。

しかし、中にはふれあい大学への入学に踏み込めない方もいるかと思えます。

そこで、一般の方も参加ができる公開講座を実施しているようですが、それをより広くPRするためにも、例えばインターネットを利用した「春日部動画チャンネル」を活用して、自宅で自由な時間に公開講座を見ることができるよう取り組みも効果があると思います。市での考えを伺います。

○福祉部長

ふれあい大学の公開講座については、広報やポスターなどで周知を行っていますが、残念ながら参加人数が少ない

状況です。今後、さらに多くの方にご参加いただき、ふれあい大学に興味を持っていただけるように、公開講座の回数やPRの方法も検討していきたいと考えています。

議員ご提案の春日部動画チャンネルの活用については、さまざまな事情で公開講座に参加できない方や、ふれあい大学をあまりご存じでない方への周知方法として有効と考えており、今後の活用について研究をしていきたいと考えています。

○空き家対策について

このほか

**かすかべ 動画 チャンネル**

春日部市のイベントや市を紹介する動画を配信中！

<https://www.youtube.com/user/KasukabeCity>

かすかべ動画チャンネルのインターネットアドレス

線状降水帯禍から1年



水沼日出夫  
議員

平成27年9月9日から10日の関東・東北豪雨は、時間最大雨量48・5ミリメートル、総雨量338ミリメートルという、未曾有の大雨をもたらしました。その後、その名のとおり広範囲に爪痕を残した線状降水帯禍からの教訓で、これまでの局地的で短時間のゲリラ豪雨に合わせ、広域に長時間にわたって降る大雨までも想定する浸水対策が問われるようになったことについて、本市の認識を伺います。

また、長時間豪雨も想定した家屋等への浸水に備える直前の対策および長期的、計画的治水対策について伺います。

○建設部長

本市は、河川勾配も穏やかで、降った雨がすぐに流下できないことや、都市化の進行により、田畑の保水・遊水機能が低下しています。計画降雨を超える雨に対して、浸水被害の軽減を図る対策が求め

られており、河川や水路、下水道の整備を促進するとともに調節池の検討などの総合的な治水対策を計画的に取り組むことが必要と考えています。

○市長公室長

被害軽減の取り組みとして、なるべく不要不急の外出を避け、まずは屋内で待避し、大雨・洪水警報が発令される場合でも、まずは自宅などの2階以上への垂直避難をしていただくなどの安全な居場所の確保をお願いしています。

このほか

○県道沿いの交通安全、防犯街灯について



谷原親水広場と三角貯水池間を流れる安之堀川

地域包括支援センターについて



吉田 剛  
議員

現代社会においては、高齢化が急速に進み、内閣府の発表によると、平成27年10月1日現在、65歳以上の高齢者の割合である高齢化率は26・7パーセントとなっています。人口全体の4人に1人以上は65歳以上の高齢者ということですが、そのような状況下では、高齢者が住み慣れた自宅や地域で生活できるように、必要な介護サービスや保健福祉サービス、その他、日常生活支援などの相談に応じてもらえるような窓口が必要不可欠です。高齢者にとつて地域における介護相談の最初の窓口となる地域包括支援センターの概要、および今後の役割について伺います。

○健康保険部長

地域包括支援センターは、地域住民の保健医療の向上、および福祉の増進を包括的に支援することを目的に設置したもので、高齢者の多種多様

な相談にワンストップで対応できるように専門職を配置しています。業務は、要支援1・2の方の介護予防プランの策定を行うケアマネジメント業務や高齢者に関するさまざまな相談に応じ、適切なサービスや制度につなげる総合相談支援業務などを行っています。

このほか

○春日部駅西口エリアの冠水対策について

今後市と一体となって、地域包括ケアシステム構築に向けた取り組みを推進する中、核的な役割を担う機関として、機能の強化を図っていきます。

本庁舎整備審議会  
答申について



井上 英治  
議員

今年5月に出された答申後の予定と、文化会館敷地（東口）と旧市立病院敷地（西口）を移転先比較し、西口優位とした8課題の内容に疑問が残るので根拠を伺います。①他市の例では、防災施設との距離差を問題にしていないが本市ではどれ程か。②東口では

窓口の低層階設置や利用客が重なることでの渋滞の発生、代替施設が必要などあるが、問題ないのでは。③点字ブロックは問題にするほどの金額なのか。設置費はどれくらいか。④東口は軟弱地盤というが、今まで液状化が起きたのか。むしろ水害対策として海抜の方が問題ではないかと思

○選挙管財担当部長

本庁舎整備審議会では、客観的データを基に、文化会館敷地と旧市立病院敷地の2敷地を相対的に比較検証しています。①消防本部から旧市立病院敷地までは約1800メートル、文化会館敷地までは約2780メートルです。②より利便性の高い窓口が設置できる敷地を検証するため、1階への設置の比較など、相対的にされたものです。③点字ブロックの設置費用は、試算で約240万円です。④敷地の安全性は、春日部市洪水ハザードマップにおいて、利根川エリア、荒川エリアともに危険度が同等であることを確認しています。

このほか

○春日部から都心へのアクセス向上について

このほか



避難訓練コンサートについて



栗原 信司  
議員

かつて災害対策として、夜間避難訓練、ペット同行避難訓練、プールを使った着衣避難訓練などを提案し、順次実施していただきました。

市民文化会館の大きなイベントでは、約1000人のお客さまが入場しています。いざという時に迅速に避難ができるようになるためには、日頃の訓練が重要であり、施設管理者と利用者が連携した訓練が必要です。

そこで、コンサート公演の最中に、災害が発生したことを想定して実施する避難訓練コンサートの実施を提案しますが、市の考えを伺います。

○学校教育部長

避難訓練は、災害対策等のマニュアルやガイドラインの実地検証という目的を担っています。訓練を通じ、机上で気付けなかった問題が見えることで、マニュアルやガイドラインのさらなる充実を図る

とともに、職員および施設利用者の避難への意識を高められることから、大きな備えの一つであると考えています。

避難訓練コンサートは、災害対策における大切な備えの一つであることから、他市の取り組みについて情報収集を行い、調査研究していきます。

このほか

○解体の予定される公共施設を活用した訓練について  
○ハンドル形電動車いす事故防止策について  
○ハンドル形電動車いす・電動アシスト付き自転車購入補助

こども医療費における接骨院、整骨院での窓口払い廃止について



中川 朗  
議員

こども医療費は、市内医療機関での窓口払いを廃止し、医療費の助成対象年齢も中学校修了前までに拡充されました。しかし、接骨院や整骨院については、窓口払いのままとなっております。

年間3000件を超える利用件数があることや、本市の

重度心身障害者医療費助成制度ですでに実施していることさらには、他市での実施事例もあることから、受給者世帯の負担軽減のために、接骨院や整骨院での窓口払いの廃止を検討して欲しいと考えますが、市の考えを伺います。

○子育て支援担当部長

こども医療費における接骨院などの窓口払いの廃止については、重度心身障害者医療費助成制度の事務と支払い方法が統一されることにより、市民の利便性向上につながることを期待できます。

しかし、接骨院などにおける医療費の審査方法は他の医療機関と異なることから、架空請求や不正請求の可能性が高くなる懸念が、適正な医療費給付のための審査事務の煩雑化が予想されます。

このことから、不正防止策の国の動向を見極めつつ、審査方法や事務の取り扱いなどを検討するとともに、関係団体との協議を進めていきます。

このほか

○公共施設マネジメント基本計画について  
○都市農業の振興について  
○春日部駅西口の交通環境について

公立図書館は市直営で責任ある運営を



坂巻 勝則  
議員

本市は中央図書館、武里図書館、庄和図書館を有しており、武里図書館と庄和図書館は既に指定管理者制度を導入し、運営を民間委託しています。市は、中央図書館が市直営の統括館として、指定管理者2館の指導監督を行うので、公立図書館としての役割は果たせるとしてきました。

しかし、サービス向上と経費削減を目的に来年4月から中央図書館まで指定管理者制度へ移行しようとしています。指定管理者制度は、長期的視野に立った運営が必要な図書館にはなじみません。また、利益を目的とする民間企業を指定管理者にすること自体に矛盾があり、図書館で利益を得ようとするれば、人件費を抑えるしかなく、市が自ら「ワーキングプア」を作り出すことにはなりません。中央図書館の指定管理者制度への移行は中止し、武里図書館と庄

和図書館も直営に戻すべきですが、市の考えを伺います。

○社会教育部長

武里図書館、庄和図書館は、効率的で効果的な運営が実証されています。図書館の根幹業務はこれまでどおり市が行い、学校との連携などで、本市独自のよりよい図書館サービスが期待できると考えます。

○市長

中央図書館への指定管理者制度の導入中止、武里図書館と庄和図書館を直営に戻すことは考えていません。

このほか

○春バスの更なる充実を



春日部市立中央図書館